

普及現地情報



発信年月日：令和4年(2022年)8月2日
所属名：湖北農産普及課
番号：G22011
部門分類：120 麦・豆・雑穀
発信者名：川村容、新谷

高品質大豆生産に向けた研修会が開催されました

7月21日、JA北びわこ管内の生産者を対象に、JA北びわこ主催で「高品質大豆生産に向けた研修会」が開催され、管内の大豆生産者や関係機関担当者等、計70名が参加されました。

JA北びわこ管内では、これまで煮豆用途として「オオツル」が作付されていましたが、近年は天候不順などにより品質や収量が低迷しており、生産者の作付意欲も低下していました。そこで、機械化適性に優れ需要の高い豆腐・豆乳用途の「里のほほえみ」に、令和5年産での全面転換（地場出荷を除く）が予定されています。

研修会では、はじめに全農から全国の大豆生産状況および需要の動向、JA北びわこから管内の大豆生産状況について説明がありました。続いて、穀物商社から「里のほほえみ」の加工適性に対する実需者評価について、豆腐製造業者から「里のほほえみ」に期待する具体的な品質の説明がありました。豆腐用途としては、大粒で登熟が優れ、高タンパクな大豆が適しており、生産基準に則った安心安全な栽培が何よりも重要であるとのことでした。

当課からは生育概況と収量・品質向上のために必要な今後の管理について助言しました。

質疑応答・意見交換では、豆腐・豆乳用途の調製方法などについて議論が行われ、参加した生産者は実需者が求める高品質大豆に対する理解を深めることができました。



研修会の様子